

無料体験夏キャンプ2025

募集要項・参加契約書(PDF版)

<主催> NPO法人アルクス教育研究所 <共催> トビーキッズクラブ

以下の方は参加をご遠慮ください。

1. 本募集要項・参加契約書記載事項を厳守できない方
2. 当校から開示、提供されているすべての資料やホームページなどで本事業の主旨と目的をご理解いただけない方および付帯事項を厳守できない方
3. 本事業は参加者を遊びや体験で楽しませることが目的ではなく、経験し学ぶことが楽しいと思える人づくりが目的です。それをご理解いただけない方
4. 社会規範、モラル、常識がない方
5. ルールや約束を厳守できない方
6. 互いを尊重し、努力や少しの我慢もできない方
7. 暴力団・反社会的勢力の一員または疑いのある者、あるいは公共や団体の秩序をみだす自己中心的な考えの方
8. 参加するお子さんに本事業の主旨や目的、ルールや約束ごとを説明されない方
9. 参加するお子さん自身が不便なキャンプであること、チームに協力すること、新しい仲間をつくること、ルールを守ること、などを理解できない方

「お客なので何言っても、何やってもいい主義」の方は基本的に参加をお断りしています。
私たちは、保護者様・参加者の皆さんとの協働作業または、信頼関係で本当の「良いキャンプ・合宿」
本当の「協働生活学習」にしたいと考えていますので、
他人に迷惑をかけた、当校に迷惑や不快感を与える方は、参加をご遠慮ください。

特定非営利活動法人 アルクス教育研究所
日本アルクス自然学校
スタッフ/リーダー
一同



ルールを守り、楽しいキャンプにしましょう！
私たちが精一杯がんばります！

事業目的

本無料体験キャンプ合宿で、1人で身の回りごとを自分でできるか、見ず知らずの人と友達になれるか、1人で寝るか試すことを目的の一つとします。また、自己紹介、団結式、各種レクリエーション、夕食づくり、片付け活動、朝食づくり、片付け活動、キャンドルファイヤー交流会など、1泊2日の中にもイベントは目白押しです。集団活動や団体行動がとれるか、主体性と協調性の育成も目的の一つとします。

参加対象

年長さん、小学1年生～中学3年生までの男女※対象学年であっても参加できない（または困難な）場合もあります。
但し、下記にある参加条件を守れない場合、参加者ががんばろうとしない場合は、対象学年であっても参加できません。

参加条件

1. 自立・自律の心を持って自分で参加の決意をし、キャンプ・合宿の五ヶ条ルール及び生活の基本心得（※詳しくはホームページに記載）を守れし者
2. 不便なキャンプ・合宿や快適でない環境でもがんばれ、新しい仲間を自らつくれし者
3. メールで主催者と連絡ができる方（緊急時は、電話にて）及びメールの添付書類データを印刷できる方（ご自宅のPC&プリンターやコンビニプリンターなど）
4. 自力で集合解散場所に集合・解散でき（時間厳守）、本書すべてに理解・賛同・承諾できる保護者の方
（申込書を当校に送信・送付した時点で募集要項・参加契約書など募集資料記載事項すべてに理解・賛同・承諾したものとみなします。）

<無料体験夏キャンプ2025に参加する方へ>

『まるかじり夏キャンプ2025』（開催場所：福井県大野市 集合解散場所：JR新大阪駅）または『トビー体験教室2025』（大阪府・兵庫県などで年間スケジュール・年齢別にて様々な体験プログラムを行います）に参加する意旨があること

（無料体験申込みと同時に『まるかじり夏キャンプ』または『トビー体験教室』に参加申込みをし、指定期日までに参加費等を指定口座にお振込みください。指定期日までに入金を確認されない時は無料体験申込を無効とさせていただきます。尚、無料体験後キャンセルされたい場合は当法人キャンセル規定により返金致します。）

活動場所

吹田市自然体験交流センター及び周辺公園〔宿泊場所〕吹田市自然体験交流センターわくわくの郷

申込方法

無料体験夏キャンプ2025のリーフレット裏面を参照ください。

飲食について（アレルギーなど）

食べ物アレルギーに関しましては、申込時など事前に必ず連絡ください。原則個別対応ができませんが、レトルトおかず持参などによっては対応ができる場合があります。また、ご家庭や宗教上などの関係で食べられないものがある方も同様です。必ず参加申込書にも記載ください。

身体について（アレルギーなど）

アトピーやぜんそくなどの持病に関しましては、申込時など事前に必ず連絡・相談ください。常備薬がある場合は対処法、注意点などを詳しく伺い、対応策を準備します。必ず参加申込書にも記載ください。重度のアレルギーや常時の個別対応を要する症状を持っている場合は対応できかねますので、予めご了承ください。

常備薬について

アレルギーや持病などで薬を処方する必要がある方は、申込時など事前に必ず連絡・相談ください。必ず参加申込書にも記載ください。キャンプ・合宿当日、必要な場合はお持ちください。原則、薬は自己管理をお願いします。ただし、学年が小さいお子さんなどの場合はご相談いただければ、こちらで管理することができますので、集合時に薬（何の薬か、処方方法、量、時間帯など）の情報をメモにつけてお知らせください。

伝染・感染症病について

参加前に伝染・感染症病などにかかり、完治していない場合は、参加者本人が元気であっても他の方々に感染する恐れがあるため、参加をご辞退ください（自己都合キャンセル扱いとなります）。以上のような恐れがある場合は、たとえ参加希望があったとしても参加受入れをお断りする場合がありますのでご了承ください。（社会通念上、自己でキャンセルする必要があると認められるため自己都合キャンセル扱いになります。）
参加当日の場合であっても同様ですのでご注意ください。尚、当校に承諾なしで未完治で参加し、他の方々に感染させた場合は責任を負っていただく場合がありますのでご了承ください。

夜尿について

夜尿が心配な方はまずご相談ください。毎回、夜尿を心配する参加者本人、保護者様は多くおります。その方々は以下のようにし心配をクリアにしています。

- おねしょパンツを持参。（着脱は他の子どもたちの目に届かない様、スタッフルームで対応できます。）
- 寝る前のトイレ確認は必ず行っています。ただし、以下の事項に関しましては対応できかねますのでご了承ください。
 - ・夜中に起こし、トイレに連れていく。
 - ・おねしょシーツを持ってくる。（シーツがずれ、機能しにくい。他の参加者に分かってしまい本人が恥ずかしい思いをする可能性がある。）
 - ・その他、当校の判断によって対応できない事柄

対応できかねる事項を参加当日に依頼（書面含む）された場合、参加受入れまたは、ご依頼をお断りさせていただきますのでご注意ください。
尚、参加受入れを当日お断りさせていただいた場合でも上記の場合は、当日の自己都合キャンセル扱いとなりますので予めご了承ください。

お風呂（入浴）について

施設にはシャワーなどの設備はあります。当日の天候や活動による過度の汚れ、またアトピー性皮膚炎などの疾病を考慮した上で当校側が必要と判断した場合は適宜入浴をします。ただし、野外教育活動であることを鑑み、その上で衛生面を確保できると判断した場合は、入浴しないこともありますので、あらかじめご了承ください。

集団活動が困難なお子さん、障がいをお持ちのお子さんについて

集団活動が苦手、協働生活の学習目的を受け入れられないお子さん（新しい仲間をつくる努力ができない。強い口調や威圧的な態度で他人と接する。チームの団結に協力できないなど。）は、参加をお受けすることができません。また、障がいなどをお持ちのお子さんに関しましては、原則対応ができませんが、お子さんの状態によっては対応できる場合がありますので、一度ご相談ください。必ず参加希望申込書にも記載ください。場合によっては保護者様と相談の後、当校担当スタッフがお子さんと直接お話などをさせていただくこともあります。

尚、参加当日に連絡された場合（書面含む）には原則参加受入れをお断りさせていただきます。また、当校に承諾なしで参加し、他の方々に迷惑になったり、集団生活が困難な場合や正常な運営を妨げると判断した場合には保護者の方にお迎えいただきませますのでご了承ください。
（お迎えいただく費用は全額自費負担願います。参加費等の返金は一切行いません。）

安全および傷害保険について

キャンプ・合宿などの野外活動は、安全・安心第一です。当校では、活動場所の下見と安全対策を徹底し、様々な状況や環境での安全対策、事件・事故につながる恐れがあるリスク管理を予防から対策、対応までを当日はもちろんのこと日々研究しています。しかし一方で野外活動の重要性は、「多少のリスクを恐れないこと」でもあります。そのバランスがとても大切だと考えていますので野外活動では、軽度の怪我やストレスなどを負うことは予めご理解ください。軽傷の場合は、施設の保健室で手当を行います。重症や大事をとって検査する場合などは最寄りの病院に搬送します。しっかりとサポート体制がありますので、保護者の方がおられないキャンプ・合宿中でもご安心ください。また、救急救命救護法の国際資格を取得した当校スタッフが万全の体制を整えています。そして万が一に備えて当校で下記の通り保険に加入しており、その保険の範囲内によって入院費や通院費を補助します。

<契約保険会社> 株式会社 損害保険ジャパン 最高限度額：1名 1億円または1事故2億円（均等割）入院：1日3,000円 通院：1日2,000円（免責あり）
対象期間：当該日から180日以内の入院・通院 限度日数：通院の場合90日、入院の場合は通院と合わせて180日

※該当事の方々に別途、電話でご説明と保険会社からの詳細資料の送付を行います。

キャンプ・合宿の当日、病院にかかった場合について

期間中にケガや病気に遭遇した場合（あきらかな軽傷除く）は、保護者の方との相談の上で最寄りの病院で診察を受けます。その場合の費用に関しましては一旦、当校で立て替えますが解散時等でお支払いをお願いいたします。状況によっては、保護者の方に連絡相談の上、帰宅願う場合もあります。その場合はお迎えいただくようお願いいたします。保険会社の審査により傷害保険が対象となると判断された場合は、保険内容により支給を受けることができます。詳細はお問い合わせください。

当日の参加者責任について（下記のような場合は、保護者様の責任の下で対処ください。）

参加者の責任に帰すべき事項は保護者様の責任として対処ください。キャンプ・合宿中に参加者（お子さん）が、故意に起こした事故、事件（相手に怪我（重度の心身傷害含む）を負わせた、窃盗、備品損害など）、送迎時（親御さん同伴中）のトラブルなど。

指導者・スタッフについて

指導者・自然体験指導員の多くは、適切な研修や講習、試験を合格し、資格を有する専門家です。また、安全安心のための国際救命救護法の国際資格保持者が常時同行しております。そして主催者スタッフ・指導者に対しても研修会を設け、技能の習得や子ども達との接し方についての考え方を話し合いながら指導しています。

参加者の相談員（ボランティア）について

当校主催のキャンプ・合宿事業には、子どもたちの相談相手やサポーターとして「相談員（カウンセラー・リーダー・サポーター）」という者が活躍しています。相談員（カウンセラー・リーダー・サポーター）の多くが、自然体験活動リーダー（CONEリーダー）などの資格を保持しています。また、当校はボランティア相談員に対しても研修会や勉強会、ミーティングを設け、技能の習得や子どもたちとの接し方についての考え方を話し合い（ボランティア相談員キャリアアップ制度）ながら指導しています。

指導方針と接し方について

キャンプ・合宿中は、「**五ヶ条ルール**」と「**生活の基本心得**」を中心に活動します。もし守れないと**イエローカード（注意）**や**レッドカード**が出され**活動中止（話し合い活動）**になります。（キャンプ・合宿中は、川や森活動、夜の活動などアクティブなプログラムだけでなく野外炊飯や掃除、集団行動、生活のあらゆる場面そのものが活動です。）

「**考える気持ちがない**」「**実践しようとしていない**」「**努力をしない**」、何度も**イエローカード（注意）**により他の子どもたちの迷惑になると当校管理運営責任者が判断する場合は、帰宅していただくこともありますのでご注意ください。（保護者の方にお迎えいただけます。お迎えいただく費用は全額自費負担願います。参加費等の返金は一切行いません。）また、本キャンプ・合宿は、グループや参加者同士で注意し合う、助け合う、支え合う、協力し合うという「**集団生活のこころえ**」を守ることも実践しています。よって、グループごとや組・コース全体が活動中止（話し合い活動）になる場合もあります。子どもの年齢や理解度、協調性の習熟度によって「**分からない**」「**実践できない**」伝えても「**理解できない**」という場合もあります。そのような場合でも、**がんばる気持ちや努力をしようとする場合は**、今回できなくても次回できると信じてOKしますので「**分からない**」「**できない**」から参加できないのではなく、お 자신이「**分かる**」ように「**できる**」ように、という第一歩やチャレンジとしてご理解いただくと幸いです。幼児、低学年のお子さんから参加ができる本キャンプ・合宿ですが、本キャンプ・合宿の主旨である**自立心と生きる力**を育むという理念のもと行っていますので、ご理解いただくようお願いします。

グループ(班)構成について

グループ構成については、様々な地域・年齢間や新しい出会いの中での交流を通して生まれる学習環境を重要視しており、幼児・小学低学年から高学年の参加者がバランスよくメンバーになることや多地域の参加者、様々な生活環境の違う参加者がメンバーになることを推進していますので、主催者にお任せいただくようお願いいたします。（各キャンプ・合宿ごとの目的、主旨、環境や参加者の状況（年齢や学年や自立・自律心、協働の習熟度、知識・技術度、経験度など）、そのほかの状況によって最良となるようにその都度考えています。）また、一人で参加するお 자신이孤立しないように心がけています。

集合・解散時間厳守について

ご自宅等から集合解散場所の間に渋滞や公共交通機関トラブルがあるかもしれないという予想のもと、**当日は時間に余裕をもった送迎**をお願いします。全体の運行に支障が出ますので、集合時間に遅れた場合は途中参加になります。あらかじめご了承ください。また、解散につきましては、**解散時間に10分以上遅れた場合は**、原則スタッフがお自己責任（参加者）の**付き添いができません**。お自己責任（参加者）の解散時間以後、**一切の責任を負いません**ので、くれぐれも解散時間に遅れることがないようにお願いします。

持ち物について

（注）リュックサックを除く下記の持ち物を入れる**バック**なども必要です。（リュックサックは、活動用の小物入れと考えてください。）

持ち物は下記を参考にしてください。詳細は参加が確定した方に[事務連絡通知（最終）]にてメールで連絡します。（全て、フルネームで記名をお願いします。）

無料体験夏キャンプ2025リーフレット（チラシ）裏面を参照ください。



※上記持ち物は変更する場合がありますので、必ず[事務連絡通知（最終）]にてご確認ください。

お友達・親戚の子などと参加するときの注意点について

本事業は、各家族との契約になります。よって、お友達や親戚などで参加する方は、以下の注意が必要です。

友達や親戚が参加できなくなった/キャンセルすることになった→1人になっても1人で参加してください。（毎回1人で参加する子も大勢いて楽しんでいます。）

持ち込み禁止物

携帯電話（スマートフォン・アイフォーン含む）、携帯ゲーム類、カメラ類（動画・静止画等撮影機器含む）、マンガ・雑誌類、携帯ラジオ・ヘッドホンステレオ類、マッチ、ライター、刃物類、お菓子、装飾品、貴重品、その他野外活動・集団生活・学習上不適切なものなど。

おこづかいなどキャンプ・合宿中の所持金について

期間中は、お金を使用できる場所には行きませんし、参加者がお金を使用することは禁止していますので、おこづかいは持たせないでください。尚、持ってきたお金につきましては、こちらからの管理は行いませんので自己責任でお願いします。

開催中止について

台風・大雨などの予報がでている場合、施設での活動を中心に行い（弱雨は雨具を着て計画通り活動）しますので、基本的には中止になることはありません。（詳細は「初めての方へ」内項目「台風・大雨などの場合の開催について」を参照ください。）

個人情報保護について

- 参加者・資料請求者から取得した氏名、住所、年齢等の個人情報は当校の方針に基づき管理・保管しており、参加者・資料請求者の方の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等は一切致しません。ただし、傷害保険に加入する際、一定の情報を保険会社に提示することは予めご理解ください。
- 今後、当校より各種案内などを郵便物等により参加者・資料請求者に送付させていただく場合がございます。また、参加者・資料請求者の申し出により、これらの取り扱いを中止させることができます。
- 活動中などに撮影しました写真（画像・映像・音声含む）やいただいたご意見・ご感想などは、ホームページなどの資料に使用することがありますのであらかじめご了承ください。もし、写真などの利用について問題がある場合は、申し込み時などにその旨ご連絡ください。

初めての方へ(初めての方は必ずお読みください。)

【自然体験教育キャンプとは?】

自然体験活動とは、自然の中で自然を活用して行われる各種の活動です。例えば野外炊飯、ハイキング、スキー、川遊びといった野外活動、動植物や星の観察などの自然・環境学習活動、自然物を使った工作や自然の中での音楽会などの文化・芸術活動などを含んだ総合的な活動と言えます。様々な自然体験活動を手段とする教育領域が「自然体験教育」であり自然の中で、一定の教育目標を持って行われる自然体験活動と考えて、私たちは活動しています。

自然体験活動



自然体験教育



楽しい、おもしろい!

生きる力を学ぶ!

アルクスのキャンプ・合宿



計画、段取りし(考える)→体験、経験し(行動する)→確認、考察し(その結果を振り返る)→その確認、考察をもとに次回、次項、これからの人生に生かすという人間にとって大切で基本的な自己学習メカニズムが身につく環境を意図的に創り出すこととしています。

自然体験活動と天候

自然体験活動には、環境の変化が必ずつきものです。雨の日、強風の日など天気の良い日ばかりではありませんし、山の天気は変わりやすく、川は増水しているときもあります。台風だってくるかもしれません。その他様々な環境の変化があります。しかし、悪天候時だからこそ体験できる、経験できることも数多くあります。天気が悪いことで「予定していたことができなくなった。」がっかりする気持ちも分かります。しかし、がっかりするだけでなく、そこから「違う何か」をつくりだせるように私たちは子どもたちに促します。

「天候が悪い⇒予定していた事ができなかった⇒キャンプ・合宿が楽しくなかった」だけでは終わらないよう

「天候が悪い⇒予定していた事が変更になった⇒キャンプ・合宿で様々なことが身についた」に転換できるよう

私たち自身が努め、子どもたちに満足してもらえるよう促していきます。例えば逆に、雨であれば「濡れるから」や「寒くなって風邪をひくかもしれないから」などと考えてばかりいると「雨の中だから分かること」「雨の中だからできること」などがいつまでもできない、理解できないということになってしまいます。また「危険」「大変」等々を肌で感じ、実感することによって、今後の危険予知能力等に生かされていくということも考えられます。

以上から天候が悪くても安全確保を基本とした上で変更なしと判断する場合もあります。そこには様々な教育的視点があることを是非ご理解いただきたいと思えます。

台風・大雨などの場合の開催について

台風・大雨などの予報がでている場合、施設での活動を中心に行いますので、基本的には中止になることはありません。主催者の責任のもと、開催いたします。開催現地に被害がある場合、もしくは交通網が不通になっている場合のみ中止という判断をし、あらかじめお聞きしています緊急連絡先へ、前日の17時までに「開催中止」の連絡をメールで行います。しかし、安全に対して責任がもてる場合は主催者の責任のもと、開催いたします。

※中止となった場合は「募集要項・参加契約書」の「開催中止について」を参照ください。不安や心配をされ、保護者様の判断のもと、「辞退」「キャンセル」をされた場合は、自己都合でのキャンセルとなりますので、参加費および一切の費用の返金は「募集要項・参加契約書」の「キャンセルについて」項目に従っていただきます。

自然体験教育キャンプと旅行レジャーの違い

自然体験教育キャンプは、組織的・計画的で、集合解散からバスの移動、キャンプ・合宿生活、各種プログラムにいたるまで一定の教育的なねらいを持って行っていきます。しかし、子どもたちにとって「楽しいこと」「おもしろいこと」が第一です。そうでないと、子どもたちの知力・体力・感性・心などをバランスよく育てたいという私たちの教育的な意図・ねらいを受け入れてくれる体勢が整わないということになってしまいます。簡単にいうと子どもたちが私たちを受け入れてくれなくなってしまうからです。基本はおもしろく、楽しく、そして「野外活動＝不便な生活」から子どもから大人までの人間どうしが学び合えるキャンプ・合宿というのが当校のキャンプ・合宿で、旅行や観光、レジャーと考えて参加すると「思いが違った」となります。

以上を踏まえ一言で表現するとすれば…アルクスキャンプ・合宿は大変で楽しいキャンプです。大変は、別紙にあります「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」「生活の基本心得」を守り、仲間たちと協働生活をする事です。「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」の中のたくさんのルール。「生活の基本心得」の中にある目標。キャンプ・合宿に参加するには、この2つを守れる人しか参加できません。読んで、理解できても、実際に実行するのは大変です。たくさんのガマンや辛抱が必要な時もあります。時には、涙することもあります。そんな中でも楽しいキャンプ・合宿にするには…たくさんを自分で考え、感じ、行動することを基本にもつことが大切です。

もったとしても失敗することもあります。でもその失敗の経験や体験を次に生かし、応用し、改善し、また行動することが成長の大切な糧だと思います。また、「うまくできた時は仲間たちに伝え、喜びをわかち合うこと」「さみしいときや気持ち沈んでいる時には仲間同士で支えあうこと」こそが、感受性の豊かさやコミュニケーション力を養えるチャンスだと思います。

その中で、自分自身の居場所や生きる源を構築していくことをサポートしていき「大変で楽しいキャンプ・合宿」を子どもたちと共につくり、一生心に残るキャンプ・合宿にしたいと思っています。



「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」及び「生活の基本心得」そして、話し合い



関わる子どもたちが全員参加しての話し合いはとても重要です。

キャンプ・合宿での暮らしのルールや、生活の基本心得などを全員参加で話し合いを期間中に行います。期間中、困ったことや悲しいこと、つらいこと、伝えたいことなどをこの場で話し合い、みんなで考え、問題解決を図っていきます。

団結式ではグループごとで手と手をあわせ気持ちを一つにし、団結を図ります。

このような生活＝キャンプ・合宿を行うためには、参加する前にこのような「場」に参加するかどうか、ルールを守るかどうか、自分や他者、自然を思いやるかどうかなどが大切です。下記の「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」を守れますか？「生活の基本心得」をがんばれますか？

この「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」及び「生活の基本心得」をまもることが参加の条件です。

お父さん、お母さんにしっかりと意味を教えてもらって、具体的に、どのようなことに注意、守らなければならないのか、キャンプ・合宿までに家の人といっしょに考えておいてね。キャンプ・合宿の前に「事務連絡通知（最終）」というお手紙に詳しく書いておきますので、絶対に守ってくださいね。

もし守れないと…



注意を受けたり、話し合いで解決を図ったりするよ。せっかく楽しんだキャンプが…イエローカードはできるだけもらわないようにしましょう！



ガーン！活動中止（楽しみにしていた活動や行事に参加できない！）活動中止の間に、話し合いで問題を解決していくよ。レッドカードは絶対にもらわないようにしましょう！

それでも守れないと…
帰ってもらうこともあるので注意くださいね。

保護者の方へ

キャンプ・合宿前に時間を設けて、お子さんと「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」と「生活の基本心得」について一つ一つ具体的に確認し、意識を高めてください。以下はキャンプ・合宿中だけでなく普段の生活でも同じく、人として守るべき大切な事項です。項目が多いように感じられるかもしれませんが、子どもたちにとってわかりやすいことを重視し、基本中の基本と思われる事項を具体的に表記しました。お子さんの理解や意識の程度、学年によって伝え方をアレンジしていただいてもかまいません。充実した楽しいキャンプ・合宿になるよう、また帰ってから継続していただけるよう、まずは動機付けをして参加していただければと思います。尚、「キャンプ・合宿の五ヶ条ルール」と「生活の基本心得」はキャンプ期間中、子どもたちの目の届く所に常に掲示しておく予定です。心身の安全管理上または、あまりにも周りの迷惑になる。キャンプ運営上支障をきたすと判断した場合は、お迎えにきてもらって帰宅していただくことがありますので、ご了承ください。その際の参加費、交通費等の料金返金はお受けできません。お迎え等にかかる費用は自己負担願いますので、予めご了承ください。

キャンプ・合宿の五ヶ条ルール

一ヶ条

自然環境を大切にしよう

- 動物（虫）や植物について
いろいろな生き物がいることは大切なこと。人間も動物（虫）や植物も同じ、かけがえのないもの。むやみに傷つけないこと。
- 水などについて
地球の水を汚さないように洗剤やシャンプー・石鹸を使いすぎないようにしよう。流しっぱなしもダメだよ。
- エネルギー・資源について
省エネってわかるかな？電気、水、ガスなどを出しっ放しにしないことが必要だよ。キャンプでは薪やマッチなどその他にも資源もムダ使いしないようにがんばってみよう。
- ゴミについて
ゴミを減らす工夫をしたり、ゴミを捨ててキレイにしたり、分別をしたり、もう一度使ったりする努力をしてみよう。
- 食物について
食事は食べられるだけとりわけよう。とった分は残さない、好き嫌いをしない。モットイナイの心をみんなで持ってみよう。

二ヶ条

人のいやがることはゼツタイしない

大きく3つあって、その中にそれぞれ2種類あるよ。知ってるかな？どれも人を傷つけるのでしてはいけないよ。

1. 暴力について

(I) 暴力

たたく、殴る、蹴る、つねる、おす、ひっぱる、足を引掛けるなど乱暴なことは絶対にしないこと。その他にも自分や他の人がされて「痛い」「嫌だ」と思うことはしないで、言いたいことは口を使って伝えよう。人が喜ぶことをいっぱいしてあげると自分にも返ってくるよ。

(II) 言葉の暴力

言葉の暴力って知っていますか？バカ、アホ、マヌケ、キモイ、死ぬ、消えろ、チビ、デブ、ブス、などは絶対に言うてはいけない。体のことや見た目などをからかうことも、とって人を傷つけるのでやめよう。その他にも言われると嫌な気持ちになる言葉は使わないようにしましょう。ほめたり、励ましたり、人がうれしくなる言葉を使っていこう。

2. 仲間はずれについて

(I) 分かりやすい仲間はずれ

わざと仲間はずれにしたり、仲の良さを必要以上に表現し他の人を寄せつけないことや敵対することはゼツタイだめです。あと、仲の良い人と最初に相談してチームや輪をつくることもダメだね。

(II) 分かりにくい仲間はずれ

仲のいい友達や兄弟といつも一緒にいることで、誰か輪や会話に入れなくてさみしい思いをしていないかな？仲間はずれをしているつもりがなくても、知らないうちに仲間はずれにしていることがあるよ。コソコソ話やその人たちだけしか分からないような会話もできるだけやめよう！一人ぼっちの子やさみしそうな子がいたら声をかけて仲間に入れてあげよう。

3. イジメについて

(I) 分かりやすいイジメ

暴力や言葉の暴力、仲間はずれにしたりしていじめること、みんなで一人の人を攻撃するなど、その他にもイジメはゼツタイだめだよ！

(II) 分かりにくいイジメ

無視する、必要以上にその人の反対をする。できないことや分からないことを必要以上に注意したりや急かしたりすることはイジメと考えるときがあるよ。特に低学年の人などはできないことや分からないこと、どうしても早くできないことがあるのでよく考えてあげてね。

・そのほかについて

- ①人の嫌がることって何だろう？ 自分がされて嫌なことは人にしないようにね。
- ②自分の嫌なことと人の嫌なことが違う場合があるので違いを受け入れる努力もしてみよう。

三ヶ条

オトナの話を聞こう、守ろう

自然の中や野外で遊ぶのは気持ちがいいしすごく楽しい。だけど、危険もたくさんひそんでいるよ。オトナのスタッフやカウンセラーのお兄さん、お姉さんのいうことはしっかりきこう！守ろう！

四ヶ条

自分と他人の安全を考えて、守ろう

楽しいキャンプ・合宿の前に安全であることが大切だよ。自分のことも、仲間のことも考えて、自分たちでケガや病気にならないように気をつけよう。オトナの話を聞いたり、守ったりすることはもちろんだけど、自分の安全は自分で守るという気持ちが必要だよ。危険いことをしない、危険なところに行かない、一人で行動しない、自然をなめてはいけないなど心を持とう。

五ヶ条

一生懸命働くべし

遊びだけではなく、食事の準備、後片付け、寝床作り、そうじ、着替えや整理整頓、次の日や、次の活動・行動の準備…生活するための仕事はたっぷりあるよ。いつも家のひとにまかせてないかな？今度はみんなと協力しながら、自分たちの力でやってみよう。

生活の基本心得

1. 「自分のことは自分で」の心が基本だ

自分のことは自分ですることが大切だよ。ガンパッてもできないこと、わからないこと、知らないことがあれば自分より年上の人かオトナのの人に相談してね。心からのガンバル気持ちがあればきっと助けてくれるよ。

2. 「チャレンジ」の心が基本だ

チャレンジは挑戦という意味だよ。もっとわかりやすくいうと、「今まで～だけ～してみる」のようなもの。自分にあとちょっとの勇気やがんばる気持ちがあつたらな～とそんな人は是非この言葉を心で唱えてみようよ。

3. 「あいさつ」の心が基本だ

あいさつは、人にとってすごい大切なことなんだ。「自分はこのにいるよ」と他の人に知らせるんだよ。そしてあいさつで、その人のことがたくさん分かったり自分や他人を幸せな気持ちにさせる不思議で、スゴイ魔法の言葉。君も魔法の呪文を使いこなそうよ！

4. 「モノを大切に」の心が基本だ

モノにもいろいろあるよ。自分のモノ、他の人のモノ。壊したり、汚したり、失くしたりすることはとても「モットイナイ」ことでダメなんだよ。合言葉は「モットイナイ！」

5. 「約束を守る」の心が基本だ

約束を守らない人は信じてもらえないよ。信じてもらえないといっしょにいたく無くなっちゃうから絶対約束を守ろうね。他の人といっしょに遊んだり、活動したり、話したり、生活するにはまず信頼してもらえないようにがんばることが必要だよ。

まるかじり夏キャンプ おきて

